

論壇

文政権に立て直し期待

韓国の大統領選挙は、事前の予想どおり文在寅候補の圧倒的な勝利となった。朴前大統領の任期途中の退任ということもあり、文政権はすぐにスタートということになる。

左派の大統領ということもあり、日本との外交関係はより難しいものになることが予想される。慰安婦問題に関する日韓合意について再交渉すると明言している。日本としては簡単に乗れないものであり、日韓関係はしばらく硬直状況が続くだろう。

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

もつとも、前政権でも日韓関係は硬直していたので、さらに悪くなるというものでもない。日本としては文政権の出方をしばらくは静観するしかないだろう。

今の韓国経済について私が注目していることがある。それは左派

上昇続く韓国の株価

の政権であるにもかかわらず、韓国の株価が過去最高の水準を更新しているということだ。特に朴大統領の辞任が決まったあたりから株価は上昇を続けてきている。韓国経済を支えている感がある財閥への規制を強め、貧困対策や中小企業対策のための財

源を法人税の引き上げなどで賄おうとする姿勢は、典型的なアントビジネスの左派の姿勢である。

その評価は立場によって違ってくるが、韓国経済にはマイナスになるのではないかと、普通はそう考える。

それにもかかわらず市場経済の象徴でもある株式の価格が上昇を続けているということは、文政権が韓国経済を根本的に立て直し、中長期的な経済活性化につながるのではないかと、市場が期待しているように見える。株価を支えているのは韓国人投資家だけではない。海外の投資家も韓国株を購入している。だから株価も上昇しているのだ。

改革切望、若者が後押し

韓国経済の実態は決して良くない。若年層の失業率は10%かそれ

を超える水準だ。今回の選挙でも文候補を強く支持したのは若者である。彼らは韓国の未来に希望を持ってなかつたのだろう。だから既存の秩序を破壊するかもしれないが、改革を實行してくれるかもしれない野党の候補に投票したのだ。

かつて1990年代の後半、通貨危機の最中に就任した金大中大統領は、大胆な改革で韓国経済を復活させた。それまでは政権から弾圧されてきた野党だった大統領が韓国経済を救ったのだ。同じことが今回も起こるとは限らないが、まずは上昇基調が続ける韓国の株価にしばらく注目してみたいと考えている。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。